

静岡県月例経済報告

(平成27年12月号)

……平成27年10月を中心とした県内経済のすがた……

No. 476

—静岡県経済産業部—

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	4
	・ 需要面	4
	・ 生産面	12
	・ 雇用面	15
	・ その他	18
III	静岡県主要産業の動向	22
IV	データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成27年10月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

平成27年10月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、やや弱さがみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、弱めの動きとなっている。

需 要 面

◎個人消費は、やや弱さがみられる。

大型小売店販売額(10月)は、百貨店が2か月ぶり、スーパーが4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(10月)は、乗用車が2か月連続、軽自動車が10か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも19か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(10月)は、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家、貸家がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(10月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年12月14日)の27年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(10月)は、11か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しの動きがみられる。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額(10月)は、原動機が5か月連続、科学光学機器が8か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコンが12か月連続、自動車は6か月連続、自動車の部分品が3か月連続、二輪自動車類が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも5か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額(10月)は、木材や魚介類が前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、871億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、弱めの動きとなっている。

鉱工業生産指数(9月)は、輸送機械工業やはん用・生産用・業務用機械工業などで前年水準を下回ったことから、総合でも3か月連続で前年水準を下回った。また、6か月ぶりに前月を上回った。

また、産業用大口電力消費量(10月)は、15か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(9月)は、総合では7か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(10月)は1.24倍で、前月を0.05ポイント上回り、21か月連続で1倍を上回った。また、10か月ぶりに全国値に並んだ。

雇用保険受給者実人員(10月)は、27か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(9月)は、2か月ぶりに前年水準を上回った。

その他

◎物価は、前年を上回った。

消費者物価指数(11月)は、総合で103.2となり、前年水準を上回った。

また、前月比は0.3%下落した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(10月)は、前年同月比2.0%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(10月)は、前年同月比5.1%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数は前年同水準、負債総額は前年を上回った。

企業倒産(11月)は、件数は24件と前年同水準、負債総額は前年同月比82.8%増と前年実績を上回った。

◀ 県の取組 ▶

【『静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点』オープン】

県内企業の「攻めの経営」への転換を促進し、企業の成長戦略を実現するプロフェッショナル人材の確保を支援するため、「静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点」を12月1日に設置しました。

○ 組織の概要

(1) 名称等 静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点

＊プロフェッショナル人材戦略マネージャー（拠点責任者）

中嶋壽志（なかじま ひさし）氏

（前職）（一財）静岡経済研究所 顧問・シニアエコノミスト

(2) 所在地等 静岡市清水区相生町6番17号（静岡商工会議所清水事務所内）

TEL 054-353-3405 FAX 054-353-3410

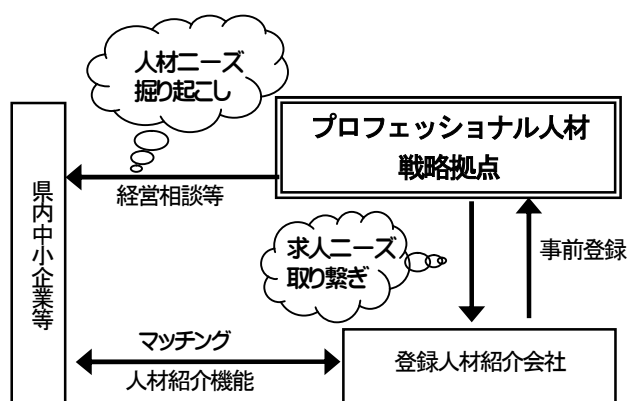
Email pro-jinzai@shizuoka-cci.or.jp

(3) 主な業務内容

- ・ セミナー開催等により、県内企業の「攻めの経営」への転換を促進
- ・ 企業経営相談等により、プロフェッショナル人材のニーズを具体化し、決断を促進
- ・ 各種関係機関等と連携し、プロフェッショナル人材のマッチングをサポート
- ・ プロフェッショナル人材採用後のフォローアップ 等

※ プロフェッショナル人材とは…新商品開発、販路開拓、生産性向上などの具体的な取組を通じて、企業の成長戦略を具現化していく人材

◎事業イメージ図



▲開所式の様子

○ 問合せ先

静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点

TEL 054-353-3405

静岡県経済産業部 就業支援局 雇用推進課

TEL 054-221-2573

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

10月 = 34,291百万円

*前年同月比： 4.4%増

(県内3百貨店、132スーパー合計)

<概況>

10月の大型小売店販売額は34,291百万円で、前年同月比 4.4%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 7.7%増）が2か月ぶり、スーパー（同 3.6%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 5.5%増）、身の回り品（同 8.5%増）、家庭用品（同 8.5%増）がいずれも2か月ぶり、飲食料品（同 3.7%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.0%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額（百万円）	35,890	34,501	36,199	34,836	35,398	34,957	32,396	34,291
前年同月比（%）	▲ 13.9	6.3	4.0	▲ 0.7	2.5	2.9	2.0	4.4
うち 百貨店（%）	▲ 24.4	16.1	5.0	▲ 0.3	4.0	3.6	▲ 4.9	7.7
スーパー（%）	▲ 10.5	4.2	3.8	▲ 0.8	2.1	2.8	3.6	3.6
(参考1) 全国前年同月比（%）	▲ 13.0	8.6	5.3	▲ 0.3	2.1	1.8	1.7	2.9
うち 百貨店（%）	▲ 17.7	13.7	6.3	0.4	3.6	2.7	1.9	4.2
スーパー（%）	▲ 10.1	6.3	4.8	▲ 0.6	1.2	1.4	1.6	2.3
(参考2) 県前年同月比（店舗数調整前）	▲ 13.6	5.6	2.7	▲ 2.1	1.0	1.8	0.3	3.0

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
衣 料 品	▲ 17.8	8.6	6.2	▲ 7.1	2.5	1.2	▲ 7.2	5.5
うち 紳士服・洋品	▲ 12.8	6.4	7.3	▲ 7.6	5.1	3.3	▲ 7.0	5.4
婦人・子供服・洋品	▲ 18.5	9.2	5.0	▲ 6.9	1.4	0.3	▲ 7.4	5.0
身の回り品	▲ 24.0	8.7	2.0	2.6	13.5	7.9	▲ 0.2	8.5
飲食料品	▲ 4.3	4.4	3.5	0.8	2.2	2.8	4.3	3.7
家庭用品	▲ 27.9	11.5	5.7	▲ 0.5	3.5	3.2	▲ 0.5	8.5
うち家庭用電気機械器具	▲ 24.7	28.3	23.7	▲ 7.1	28.1	28.6	14.7	13.9

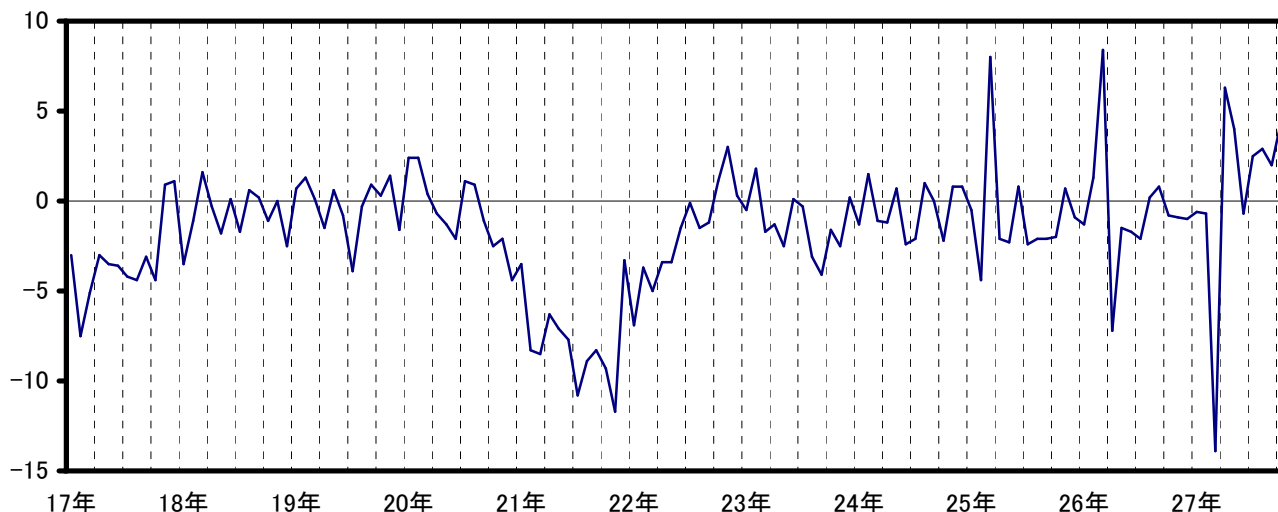
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

10月 = 6,365百万円

*前年同月比： 6.3%増

(県内3百貨店販売額)

<概況>

10月の県内3百貨店の販売額は6,365百万円で、2か月ぶりに前年実績を上回った。
 品目別にみると、衣料品（前年同月比 1.8%増）、食料品（同 3.6%増）がいずれも3か月ぶり、身の回り品（同 9.8%増）が2か月ぶり、家庭用品（同 15.7%増）が4か月ぶり、雑貨（同 16.9%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額（百万円）	7,011	5,876	6,097	6,068	6,976	5,317	5,356	6,365
前年同月比（%）	▲ 25.6	14.7	3.6	▲ 1.5	2.8	2.3	▲ 6.0	6.3
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 19.7	13.7	6.3	0.4	3.4	2.7	1.8	4.2

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

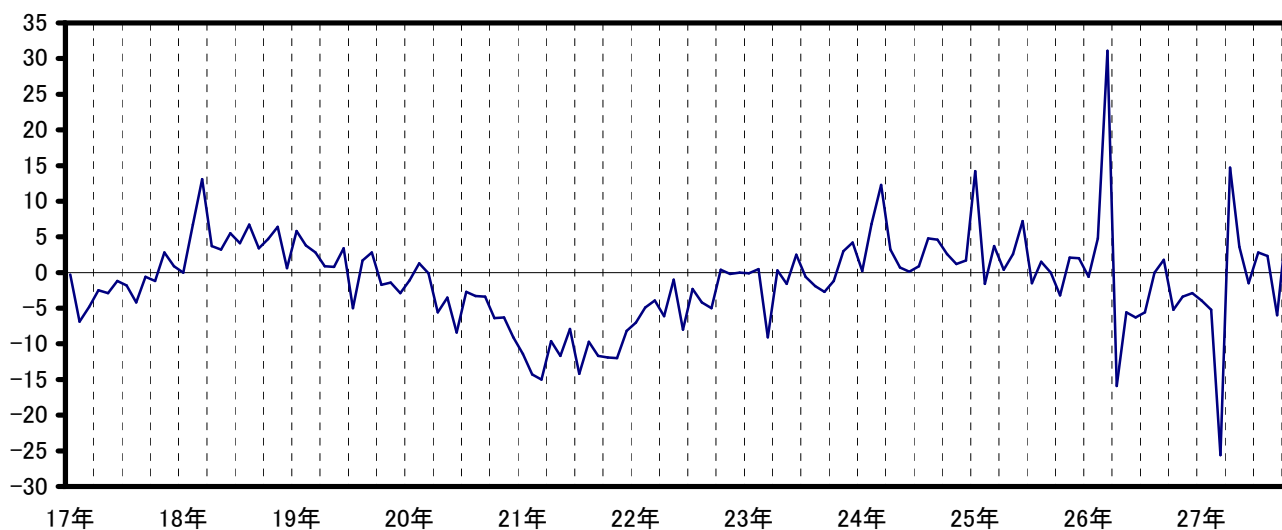
	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
衣料品	▲ 23.2	11.7	2.8	▲ 8.6	1.2	▲ 4.9	▲ 13.5	1.8
うち紳士服・洋品	▲ 14.5	9.4	4.4	▲ 7.4	4.7	▲ 0.5	▲ 14.4	1.5
婦人服・洋品	▲ 25.7	10.4	1.4	▲ 9.5	0.3	▲ 5.5	▲ 13.6	2.1
子供服・洋品	▲ 17.6	21.6	1.6	▲ 13.0	1.0	▲ 12.0	▲ 6.1	▲ 2.0
身の回り品	▲ 30.7	7.6	0.2	1.0	10.0	5.8	▲ 5.4	9.8
家庭用品	▲ 35.7	47.5	2.1	10.6	▲ 7.1	▲ 9.7	▲ 11.6	15.7
食料品	▲ 6.8	3.4	1.1	▲ 3.0	0.6	▲ 1.0	▲ 2.3	3.6
雑貨	▲ 44.1	47.9	15.2	14.2	13.7	27.7	8.2	16.9
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 56.6	71.2	25.2	18.9	18.7	55.2	24.3	9.7

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 自動車(新車)新規登録台数

10月 = 12,880台

*前年同月比： 2.6%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

10月の自動車(新車)新規登録台数は12,880台(前年同月比 2.6%減)となり、19か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 1.0%減)が2か月連続、軽自動車(同 4.6%減)が10か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
登録台数(台)	24,066	10,372	11,424	14,719	14,211	10,888	15,890	12,880
前年同月比(%)	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 11.9	▲ 10.1	▲ 8.2	▲ 3.8	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 7.4	▲ 4.0

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

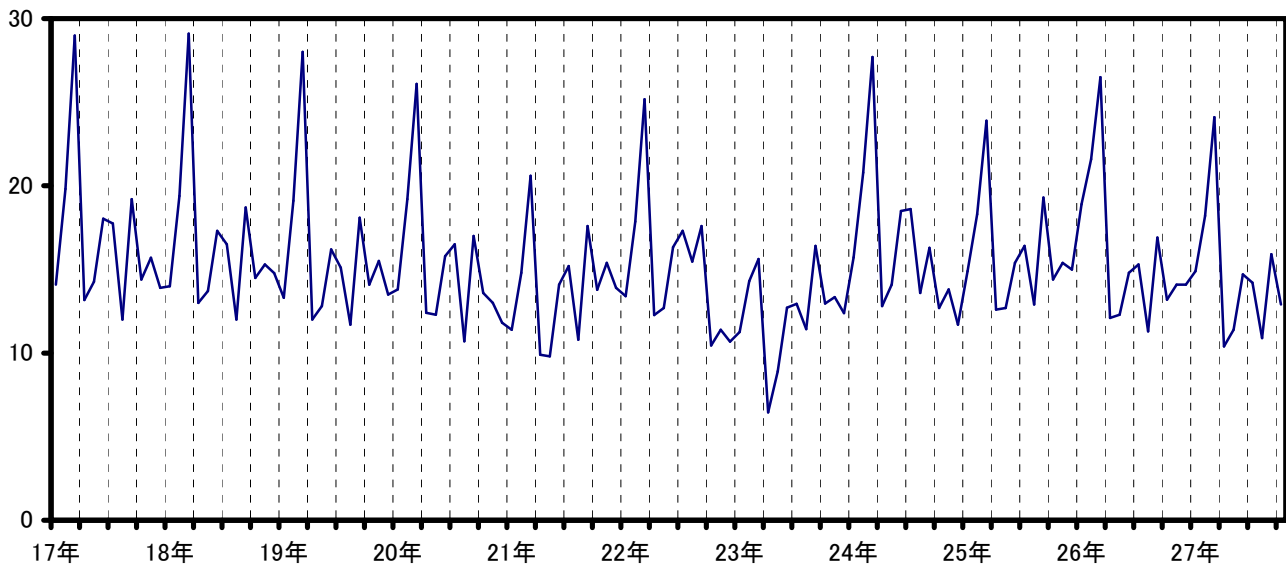
	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全乗用車	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6
乗用車	▲ 15.2	▲ 0.4	2.3	7.7	▲ 3.2	1.5	▲ 2.3	▲ 1.0
軽自動車	▲ 2.2	▲ 25.4	▲ 15.7	▲ 8.4	▲ 11.3	▲ 9.2	▲ 10.3	▲ 4.6

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

10月 = 2,114戸

*前年同月比： 8.2%増

<概況>

10月の新設住宅着工戸数は2,114戸で、前年同月比 8.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 1.7%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 5.9%増）、貸家（同 19.0%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

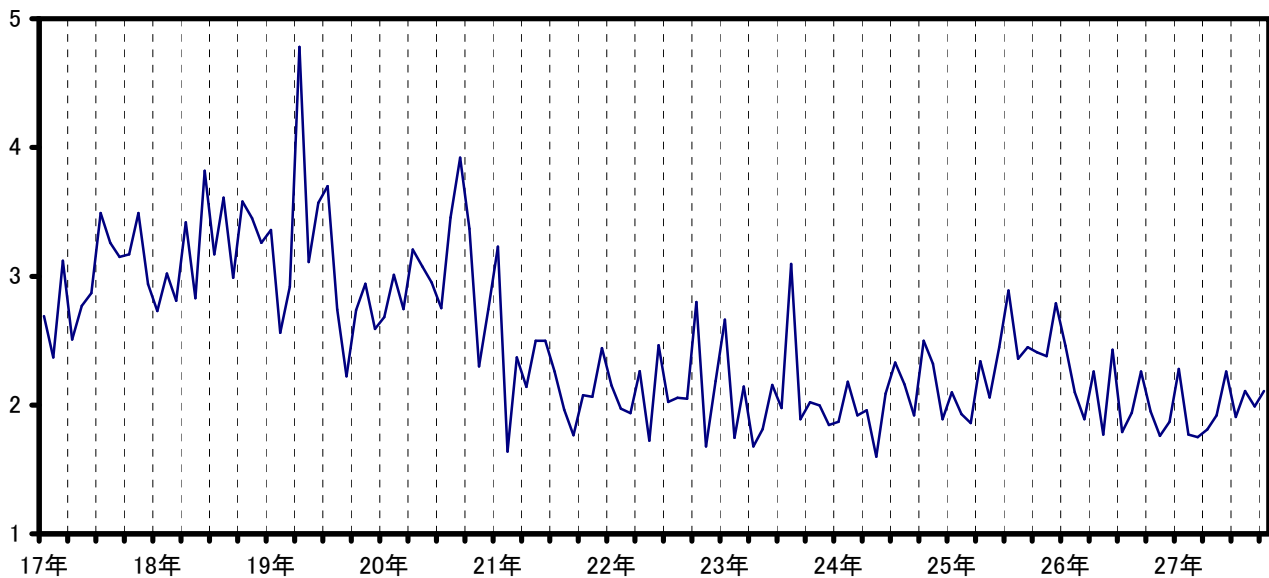
	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
戸数（戸）	1,751	1,805	1,915	2,255	1,908	2,105	1,987	2,114
前年同月比（%）	▲ 7.4	▲ 20.2	7.9	▲ 7.2	6.4	8.3	▲ 12.1	8.2
うち持家（%）	6.4	▲ 10.8	▲ 3.2	18.0	15.9	14.9	▲ 15.4	5.9
貸家（%）	▲ 20.4	▲ 17.4	9.6	▲ 33.4	5.2	4.7	▲ 19.2	19.0
分譲住宅（%）	▲ 20.7	▲ 48.5	69.1	8.3	▲ 19.3	1.5	7.3	▲ 1.7
(参考)全国前年同月比（%）	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	▲ 2.5

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

10月 = 32,163百万円

*前年同月比：52.9%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

10月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は32,163百万円で、前年同月比52.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は940件で、前年同月比10.1%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
金額(百万円)	15,112	39,163	23,823	24,042	30,155	25,705	34,060	32,163
前年同月比(%)	▲9.9	▲1.1	▲31.1	▲21.7	1.5	11.1	▲18.4	52.9
年度累計前年同月比(%)	▲2.3	▲1.1	▲15.1	▲17.0	▲12.9	▲9.4	▲11.3	▲5.2
件数(件)	183	461	363	596	862	792	1,134	940
前年同月比(%)	▲16.8	10.0	▲23.1	▲18.6	▲1.6	11.5	▲13.7	10.1
年度累計前年同月比(%)	▲4.9	10.0	▲7.5	▲12.5	▲8.7	▲4.2	▲7.0	▲4.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

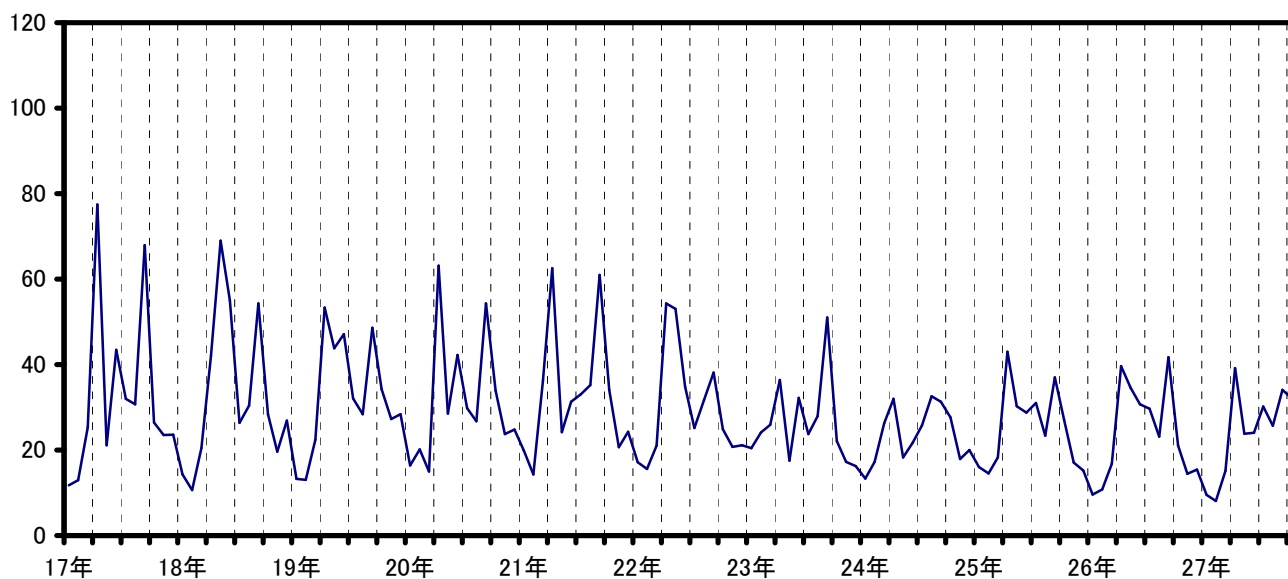
	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国	▲2.9	▲23.5	▲47.6	▲6.9	17.6	▲57.7	▲43.1	15.6
独立行政法人等	▲62.8	37.9	▲1.5	148.1	▲47.6	44.8	▲59.0	549.5
県	9.4	▲15.7	▲57.2	▲6.8	20.8	4.4	▲23.2	27.3
市町	▲35.6	▲3.0	23.4	▲30.2	▲13.2	35.6	▲5.7	37.2
地方公社	—	—	—	▲91.8	—	427.1	123.9	166.0
その他	298.7	83.9	▲49.4	▲63.7	93.9	59.6	15.9	355.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成26年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 13.8%増）で増加、非製造業（同 3.2%減）では減少となり、全産業（同 4.6%増）では増加となった。

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 28.9%増）、非製造業（同 9.2%増）でも増加する計画となっており、全産業（同 19.1%増）でも増加する計画となっている。

10月の着工建築物床面積（非居住用）は143,311㎡で、前年同月比 17.6%減となり、11か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 （実績）	27年度 （計画）	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 （計画）	前回調査 比修正率	
全 産 業	県	4.6	19.1	▲ 1.9	13.1	▲ 9.3	23.9	4.3	
	全国	4.3	7.8	1.3	4.8	▲ 6.4	10.1	7.9	
	製 造 業	県	13.8	28.9	▲ 3.4	21.1	▲ 16.8	34.2	7.5
		全国	6.8	12.2	▲ 1.1	7.0	▲ 10.5	16.4	7.0
	非 製 造 業	県	▲ 3.2	9.2	▲ 0.1	6.3	▲ 0.4	12.0	0.2
		全国	3.1	5.6	2.7	3.7	▲ 4.2	7.0	8.4

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成27年12月調査）」

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	61,410	105,169	99,993	132,924	97,942	90,364	126,652	143,311
前年同月比（%）	▲ 69.0	▲ 24.6	▲ 21.3	▲ 24.3	▲ 30.6	▲ 10.1	▲ 33.3	▲ 17.6
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 18.9	2.2	4.1	▲ 11.3	0.9	▲ 7.6	▲ 2.0	▲ 22.1

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	27年9月	27年12月	28年3月 （予測）
全 産 業	6	7	1
製 造 業	5	5	1
非 製 造 業	5	9	1
（参考） 全国 ・ 全産業	8	9	3

（注）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年12月調査）」

5 輸出

10月 = 172,307百万円

*前年同月比： 1.9%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸出総額は172,307百万円で、前年同月比 1.9%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 19.0%増）が5か月連続、科学光学機器（同 41.1%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコン（同 15.5%減）が12か月連続、自動車（同 25.0%減）が6か月連続、自動車の部分品（同 10.3%減）が3か月連続、二輪自動車類（同 24.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 0.1%増）が3か月ぶり、EU向け（同 18.1%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、米国向け（同 4.8%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸出総額(百万円)	182,364	172,324	146,515	169,073	182,005	159,175	169,382	172,307
前年同月比(%)	0.6	▲4.5	▲8.7	6.9	4.3	2.9	0.4	▲1.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
原動機	7.0	▲0.1	▲8.3	18.1	27.5	32.4	30.6	19.0
エアコン	▲22.2	▲23.1	▲33.4	▲19.9	▲23.6	▲16.0	▲13.9	▲15.5
自動車	▲0.6	9.1	▲15.9	▲8.6	▲18.3	▲29.9	▲44.8	▲25.0
自動車の部分品	▲0.3	▲15.3	▲7.5	11.7	5.7	▲10.7	▲12.3	▲10.3
二輪自動車類	9.4	2.3	6.0	21.3	▲11.5	10.7	▲19.8	▲24.2
科学光学機器	11.0	32.3	43.3	33.1	56.7	43.7	43.2	41.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	1.6	1.5	▲2.1	4.4	8.7	▲4.0	▲0.2	0.1
米国	▲8.8	▲4.8	▲5.8	5.4	▲1.3	1.8	2.6	▲4.8
EU	7.6	▲16.2	▲11.5	16.5	11.2	21.3	13.3	18.1

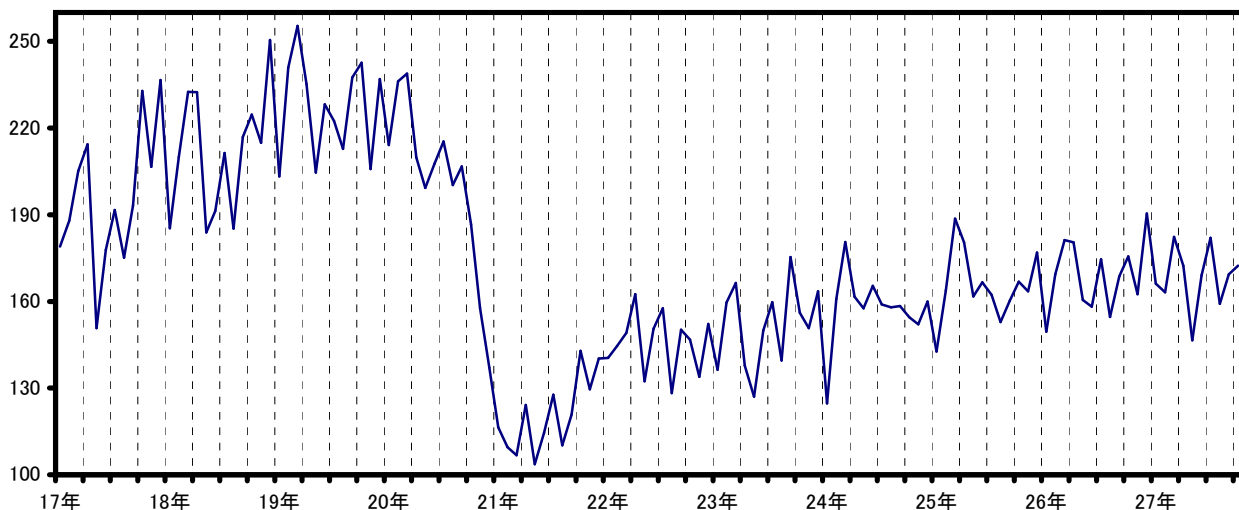
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

10月 = 85,185百万円

*前年同月比： 3.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸入総額は85,185百万円で、前年同月比 3.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比 22.5%増）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 12.6%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、魚介類（同 18.1%減）、原動機（同 10.9%減）がいずれも2か月ぶり、木材（同 35.8%減）が6か月連続、紙類及び同製品（同 5.1%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 4.8%増）、米国から（同 41.5%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、EUから（同 19.8%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸入総額(百万円)	87,219	89,792	79,568	81,813	86,311	78,819	81,578	85,185
前年同月比(%)	0.9	1.2	▲2.4	▲6.4	6.5	0.1	▲7.7	▲3.5

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
魚介類	3.6	28.4	17.8	3.1	▲2.7	▲3.9	7.9	▲18.1
木材	▲20.4	3.1	▲12.8	▲26.1	▲17.3	▲6.8	▲14.2	▲35.8
パルプ	2.8	▲4.4	▲21.1	23.1	5.7	61.5	▲26.2	22.5
紙類及び同製品	▲18.6	▲10.1	▲11.8	▲17.1	19.5	7.4	▲17.7	▲5.1
原動機	▲59.6	▲47.3	▲67.0	▲68.2	9.4	▲0.2	17.8	▲10.9
自動車の部分品	23.5	83.3	14.8	2.8	▲5.1	▲26.3	▲12.0	12.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

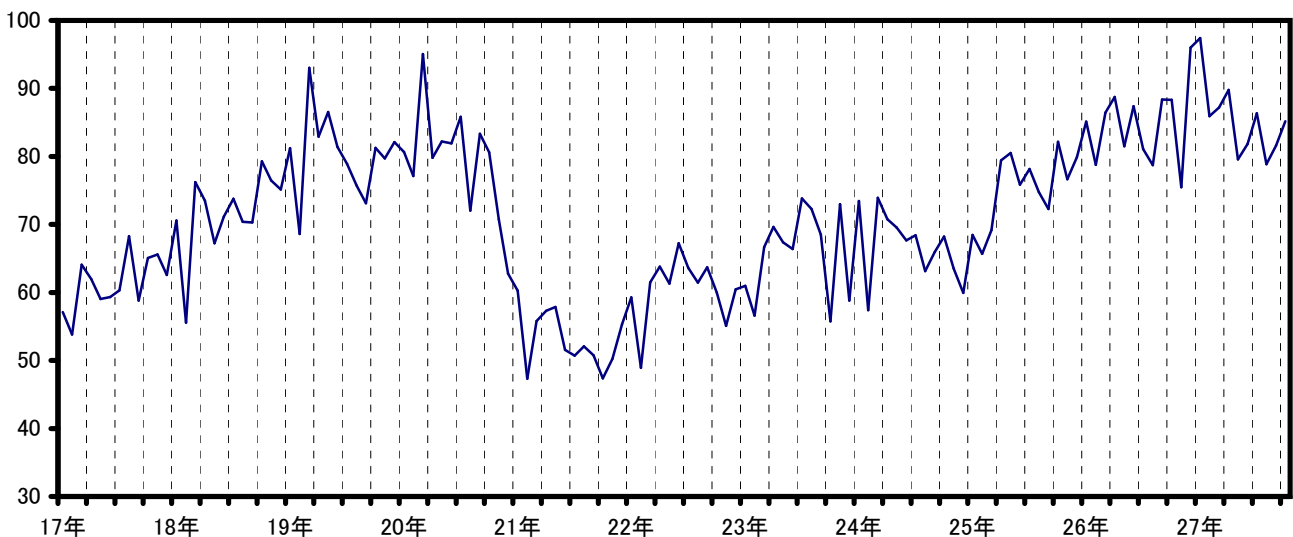
	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	▲18.7	3.2	▲5.7	▲8.2	11.4	5.7	▲12.0	4.8
米国	6.8	11.4	▲1.4	23.1	36.1	4.0	▲26.0	41.5
EU	22.9	6.9	18.7	3.6	▲10.0	▲7.3	▲8.8	▲19.8

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 産業用大口電力消費量

10月 = 996,563千kWh

*前年同月比 4.1%減

(東京電力、中部電力合計)

<概況>

10月の産業用大口電力消費量は996,563千kWhで、前年同月比 4.1%減となり、15か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、一般機械（前年同月比 5.0%減）が15か月連続、電気機械（同 0.7%減）が3か月ぶり、輸送機械（同 7.5%減）が10か月連続、化学（同 2.3%減）が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 9.9%減）が12か月連続、食品（同 0.1%減）が7か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費量(千kWh)	1,009,368	960,359	931,767	1,012,146	1,078,696	974,589	1,020,566	996,563
前年同月比(%)	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 5.7	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 2.3	▲ 2.8	▲ 4.1
全国10社前年同月比(%)	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 3.3	▲ 2.8	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 3.3	▲ 3.6

*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

<県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
一般機械工業	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 3.0	▲ 5.8	▲ 7.4	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 5.0
電気機械工業	▲ 1.1	3.1	▲ 2.6	▲ 0.8	▲ 0.7	2.5	0.8	▲ 0.7
輸送機械工業	▲ 0.1	▲ 1.9	▲ 7.8	▲ 5.2	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 5.1	▲ 7.5
化学工業	5.1	▲ 2.8	▲ 12.2	▲ 4.8	▲ 1.0	0.4	▲ 1.2	▲ 2.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 10.1	▲ 11.3	▲ 11.3	▲ 6.5	▲ 8.6	▲ 9.9
食品工業	▲ 1.8	0.7	0.3	0.9	3.4	3.3	3.3	▲ 0.1

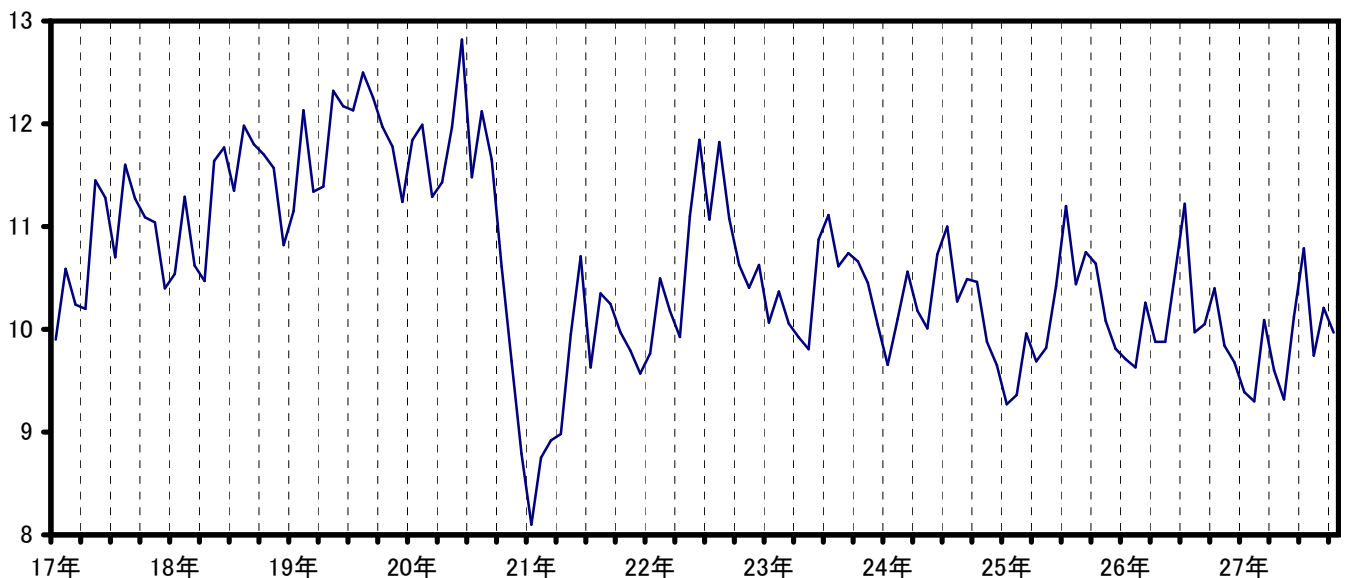
*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

<過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



(2) 鋳工業生産指数

9月 = 90.3

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.4%増

*前年同月比(原指数) : 2.1%減

<概況>

9月の鋳工業生産指数(総合)は90.3(季節調整済指数)で、前月比0.4%増となり、6か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は2.1%減と3か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、電気機械(前年同月比3.5%増)が3か月ぶり、化学(同9.7%増)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.1%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同10.4%増)が5か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同9.7%減)が3か月連続、輸送機械(同11.4%減)が7か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	96.7	98.7	95.3	93.2	92.7	90.0	89.9	90.3
前月比(%)	0.5	2.1	▲3.4	▲2.2	▲0.5	▲2.9	▲0.1	0.4
前年同月比(%)	▲1.9	▲1.6	▲1.7	▲4.2	0.5	▲3.9	▲1.9	▲2.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.6	▲1.2	▲0.1	▲4.0	2.0	0.2	0.2	▲0.9

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	17.5	2.6	4.3	▲5.4	10.4	▲10.8	▲3.8	▲9.7
電気機械工業	▲16.7	▲10.8	2.3	▲4.2	2.4	▲4.2	▲4.8	3.5
輸送機械工業	0.5	▲2.7	▲4.6	▲16.0	▲10.5	▲11.0	▲10.7	▲11.4
化学工業	2.6	5.9	▲1.6	▲5.2	11.1	7.9	13.5	9.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.7	▲2.0	▲3.4	▲8.2	0.3	▲6.0	3.3	1.1
食料品・たばこ工業	▲7.9	▲2.3	▲3.0	23.2	8.3	7.5	9.7	10.4

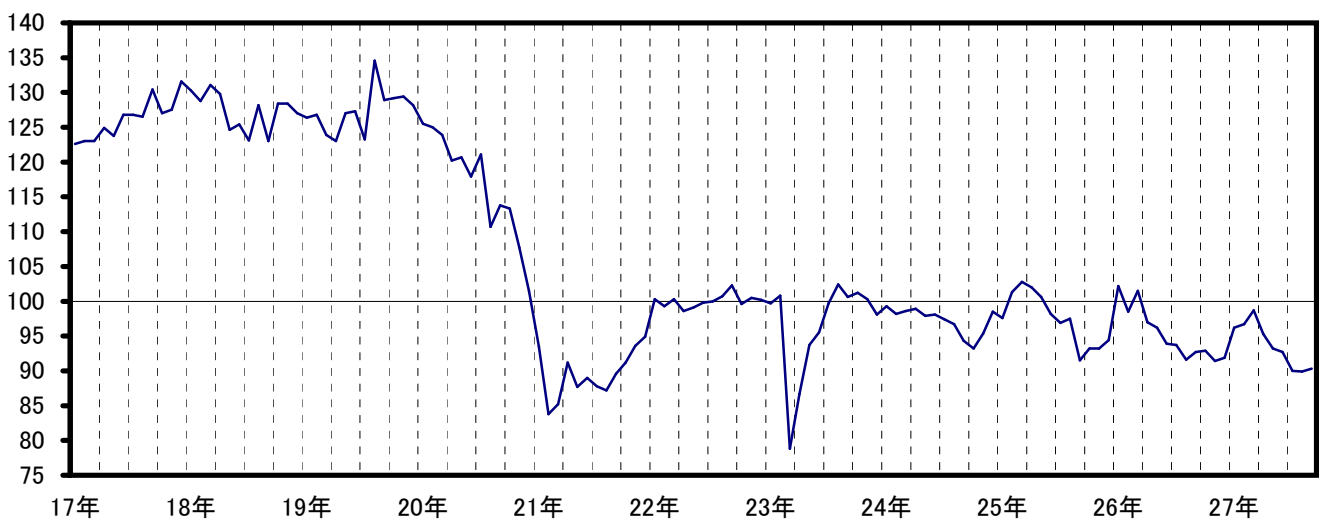
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(3) 鉱工業在庫指数

9月 = 116.8

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.2%増

*前年同月比(原指数) : 11.3%増

<概況>

9月の鉱工業在庫指数(総合)は116.8(季節調整済指数)で、前月比は0.2%増と2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は11.3%増と7か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.0%減)が6か月連続、食料品・たばこ(同7.9%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同26.0%増)が21か月連続、輸送機械(同104.6%増)が8か月連続、化学(同10.0%増)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同3.0%増)が4か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	103.6	112.2	112.7	111.6	118.9	115.2	116.6	116.8
前月比(%)	4.8	8.3	0.4	▲1.0	6.5	▲3.1	1.2	0.2
前年同月比(%)	▲0.1	6.5	10.8	3.6	5.9	5.3	8.2	11.3
(参考)全国前年同月比(%)	7.3	6.1	6.3	3.9	3.9	2.7	2.2	2.0

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.7	2.6	▲0.6	▲6.2	▲2.0	▲8.0	▲1.7	▲7.0
電気機械工業	22.5	28.2	32.3	29.8	29.6	20.5	16.9	26.0
輸送機械工業	35.1	17.2	82.5	20.7	25.9	57.9	73.6	104.6
化学工業	▲6.9	1.8	4.2	▲6.8	▲6.8	▲6.6	3.5	10.0
パルプ・紙・紙加工品工業	4.2	11.7	7.9	1.8	0.0	▲3.4	▲0.3	3.0
食料品・たばこ工業	▲1.4	20.2	23.1	7.3	5.5	6.9	▲1.8	▲7.9

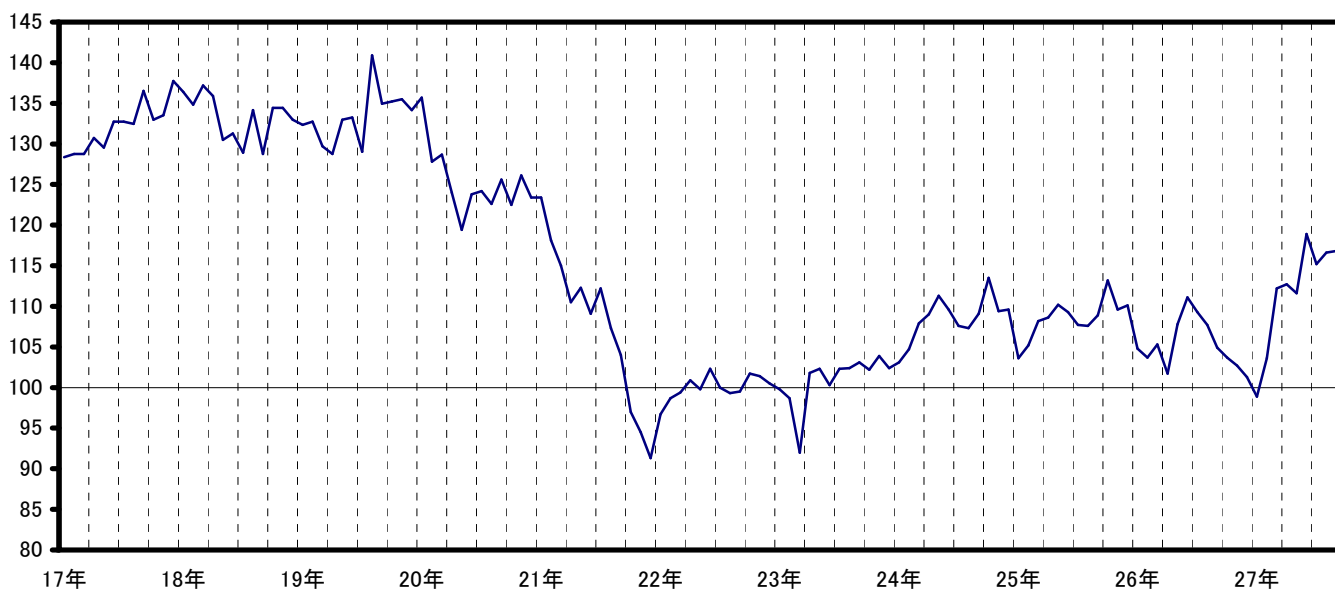
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

10月 = 1.24倍

*前月比（季節調整値）：0.05ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概況>

10月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.24倍となり、前月を0.05ポイント上回った。また、10か月ぶりに全国値に並んだ。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比1.2%減）は3か月ぶりに前年実績を下回った。

これを産業別にみると、建設業（同2.4%増）、情報通信業（同21.4%増）、運輸業・郵便業（同5.1%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同11.5%増）で前年実績を上回ったものの、製造業（同0.7%減）、卸売業・小売業（同1.3%減）、医療・福祉（同12.5%減）で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
県	1.12	1.13	1.15	1.16	1.16	1.18	1.19	1.24
全 国	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21	1.23	1.24	1.24

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	11.1	▲4.4	▲5.2	15.5	7.1	0.1	10.7	2.4
製造業	1.7	▲0.3	▲6.5	▲2.7	10.5	3.5	▲3.2	▲0.7
情報通信業	▲4.4	34.2	▲9.4	▲18.1	9.8	17.5	1.8	21.4
運輸業・郵便業	17.8	0.3	▲17.4	1.3	▲3.2	▲9.7	3.8	5.1
卸売業・小売業	6.8	▲22.3	11.5	33.9	1.4	▲28.4	▲2.1	▲1.3
医療・福祉	6.1	▲8.4	9.9	0.8	▲16.6	13.1	▲6.5	▲12.5
サービス業（他に分類されないもの）	19.1	▲9.9	▲17.3	16.1	7.5	2.9	20.4	11.5
合 計	6.5	▲5.2	▲3.3	5.7	▲2.3	0.4	3.5	▲1.2

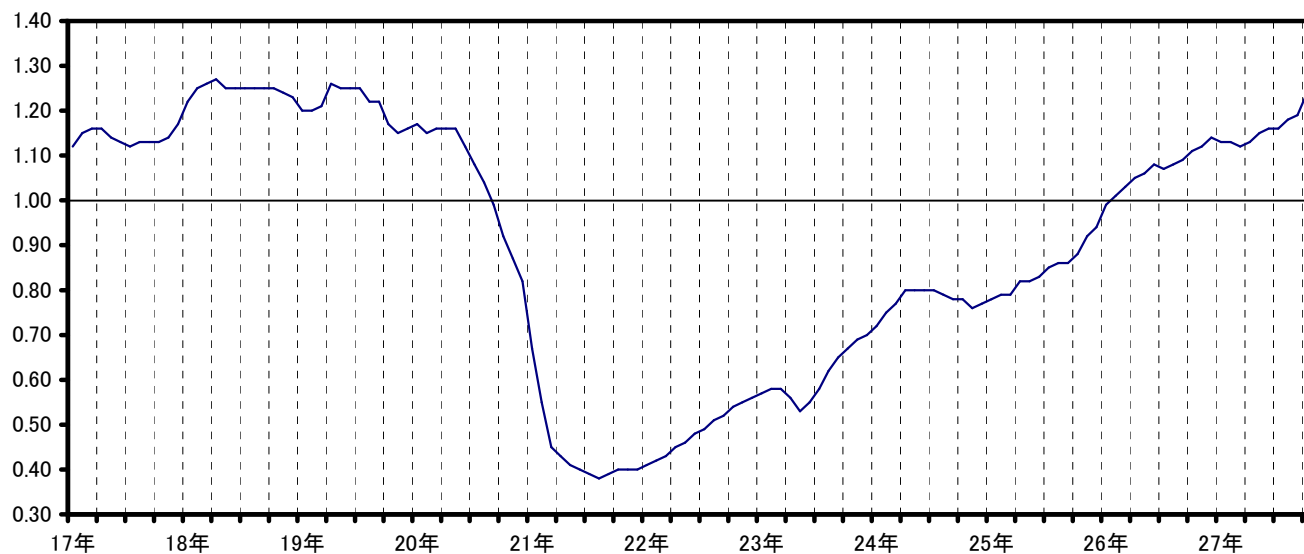
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

10月 = 13,753人

*前月比: 5.4%減

*前年同月比: 12.1%減

<概況>

10月の雇用保険受給者実人員は13,753人で、前月比は5.4%減と3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は12.1%減と27か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は3.1%で、前月から0.3ポイント改善した。
 静岡県(平成27年7~9月)の完全失業率は2.7%で、前期(27年4~6月)と同水準だった。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実人員(人)	12,934	12,750	13,771	14,561	14,967	14,815	14,542	13,753
前月比(%)	▲1.9	▲1.4	8.0	5.7	2.8	▲1.0	▲1.8	▲5.4
前年同月比(%)	▲2.7	▲6.4	▲8.7	▲4.7	▲5.4	▲5.1	▲6.4	▲12.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.3	▲6.5	▲12.6	▲5.8	▲8.2	▲5.9	▲7.1	▲7.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完全失業率(全国)(%)	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.1

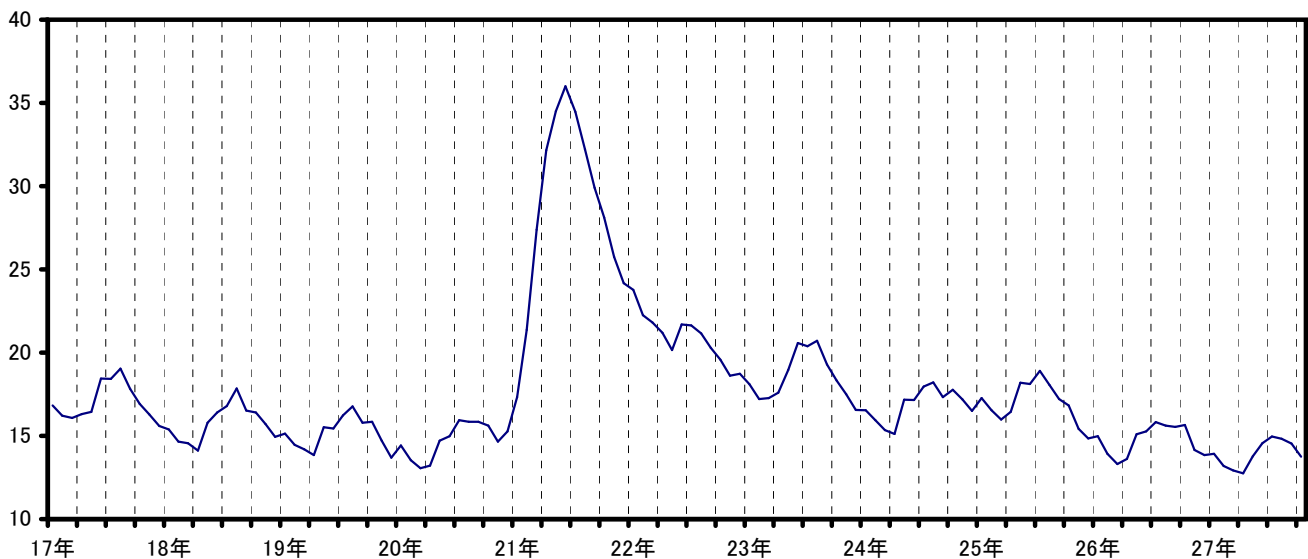
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

9月 = 111.8

*前月比(季節調整済指数): 6.8%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.8%増

<概況>

9月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は111.8(季節調整済指数)で、前月比6.8%増となった。また、前年同月比(原指数)は2.8%増となり、2か月ぶりに前年水準を上回った。

業種別にみると、運輸業・郵便業(前年同月比9.1%減)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同13.0%減)が8か月連続、医療・福祉(同7.6%減)が3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、建設業(同9.9%増)が3か月ぶり、製造業(同6.3%増)が5か月連続、情報通信業(同23.4%増)が6か月連続、その他サービス業(同15.9%増)が42か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	113.3	111.6	107.4	102.0	106.1	104.5	104.7	111.8
前月比(%)	1.3	▲1.5	▲3.8	▲5.0	4.0	▲1.5	0.2	6.8
前年同月比(%)	3.4	▲1.7	▲1.1	▲1.8	0.3	4.1	▲2.1	2.8
(参考)全国前年同月比(%)	0.5	▲1.9	▲1.2	▲1.2	0.3	▲0.5	0.2	1.0

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建設業	15.0	38.6	50.3	▲18.0	2.1	▲7.1	▲21.1	9.9
製造業	7.2	1.7	▲2.4	1.5	3.0	6.6	6.7	6.3
情報通信業	20.2	▲2.1	46.6	1.4	41.1	69.3	7.9	23.4
運輸業・郵便業	2.2	4.5	▲2.4	▲4.4	10.8	▲6.4	0.4	▲9.1
卸売業・小売業	▲1.6	▲20.1	▲19.4	▲13.0	▲9.7	▲18.0	▲12.6	▲13.0
医療・福祉	18.4	▲3.1	▲1.3	▲1.1	▲4.3	18.0	20.1	▲7.6
その他のサービス業	▲23.7	▲28.4	▲8.7	▲5.4	▲24.0	▲14.1	▲23.0	15.9
調査産業計	3.4	▲1.7	▲1.1	▲1.8	0.3	4.1	▲2.1	2.8

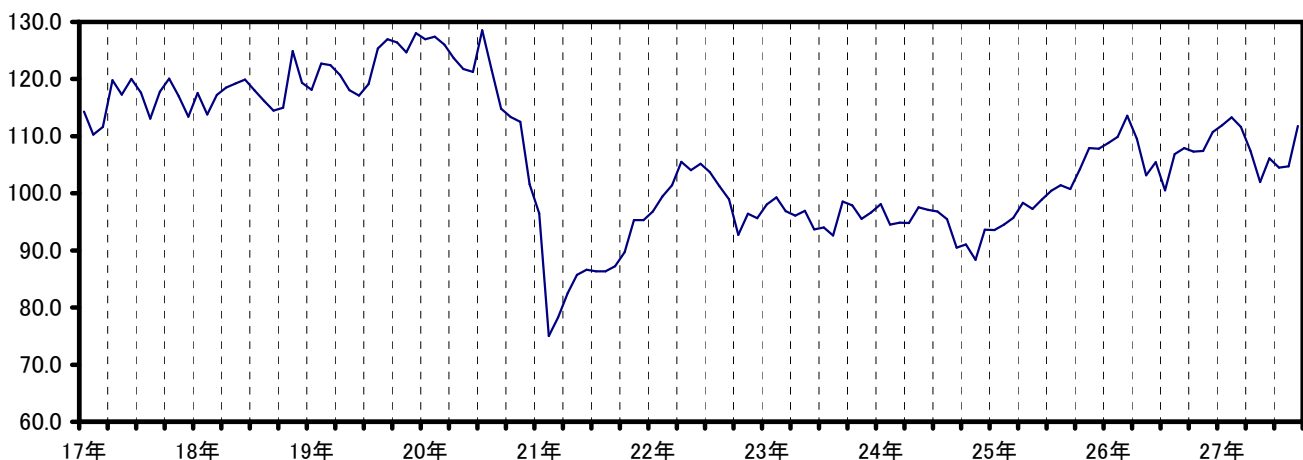
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

(1) 国内企業物価指数

11月 = 101.4

*前月比: 0.1%下落

(平成22年=100)

*前年同月比: 3.6%下落

<概況>

11月の国内企業物価指数は101.4となり、前月比は0.1%の下落となった。また、前年同月比は3.6%の下落となった。

<最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国内企業物価指数	103.6	103.8	103.6	103.4	102.7	102.1	101.5	101.4
前月比 (%)	0.1	0.2	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.1
前年同月比 (%)	▲ 2.1	▲ 2.2	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 3.6	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 3.6

*平成22年=100

<資料>日本銀行

(2) 消費者物価指数(総合)

11月 = 103.2

*前月比: 0.3%下落

(平成22年=100)

*前年同月比: 0.2%上昇

<概況>

11月の消費者物価指数(総合)は103.2となり、前月比は0.3%の下落となった。また、前年同月比は0.2%の上昇となった。

<最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費者物価指数	103.7	104.0	103.8	103.5	103.7	103.8	103.5	103.2
前月比 (%)	0.5	0.3	▲ 0.2	▲ 0.3	0.2	0.1	▲ 0.3	▲ 0.3
前年同月比 (%)	0.7	0.5	0.3	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.1	0.2

*平成22年=100

<資料>県統計調査課

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

10月 = 133,704億円

*前月比: 0.8%減

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 2.0%増

<概況>

10月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は133,704億円で、前月比は0.8%減、前年同月比は2.0%増となった。

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出残高(億円)	134,686	132,750	132,694	132,695	132,387	132,356	134,850	133,704
前月比 (%)	1.8	▲ 1.4	0.0	0.0	▲ 0.2	0.0	1.9	▲ 0.8
前年同月比 (%)	2.6	2.8	2.6	1.9	1.5	1.4	1.6	2.0

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

10月 = 2.166%

*前月差: 0.018ポイント増

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.042ポイント増

<概況>

10月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.166%で、前月から0.018ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.042ポイントのプラスとなった。

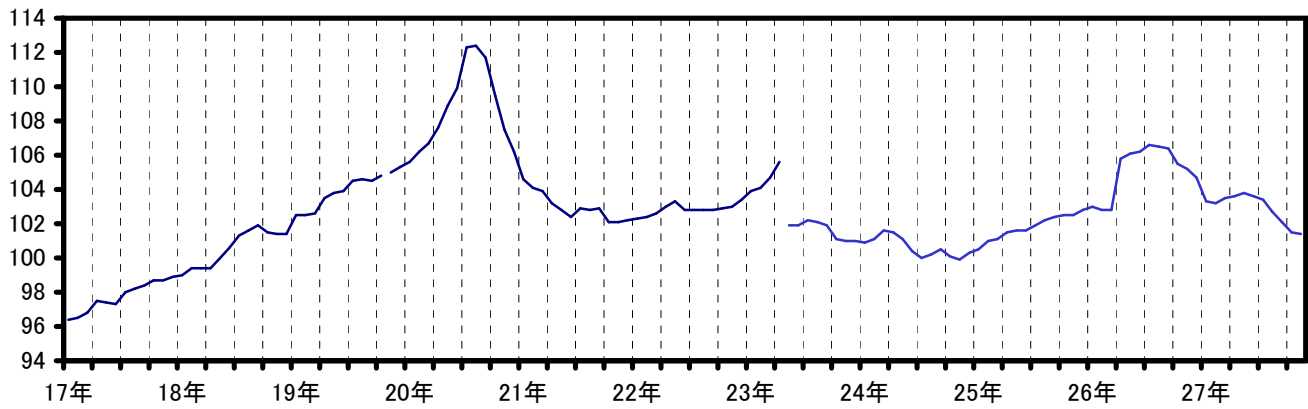
	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出約定金利 (%)	2.124	2.137	2.137	2.153	2.159	2.162	2.148	2.166
前月差(ポイント)	▲ 0.018	0.013	0.000	0.016	0.006	0.003	▲ 0.014	0.018
前年同月差(ポイント)	0.044	0.039	0.044	0.077	0.067	0.050	0.039	0.042

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

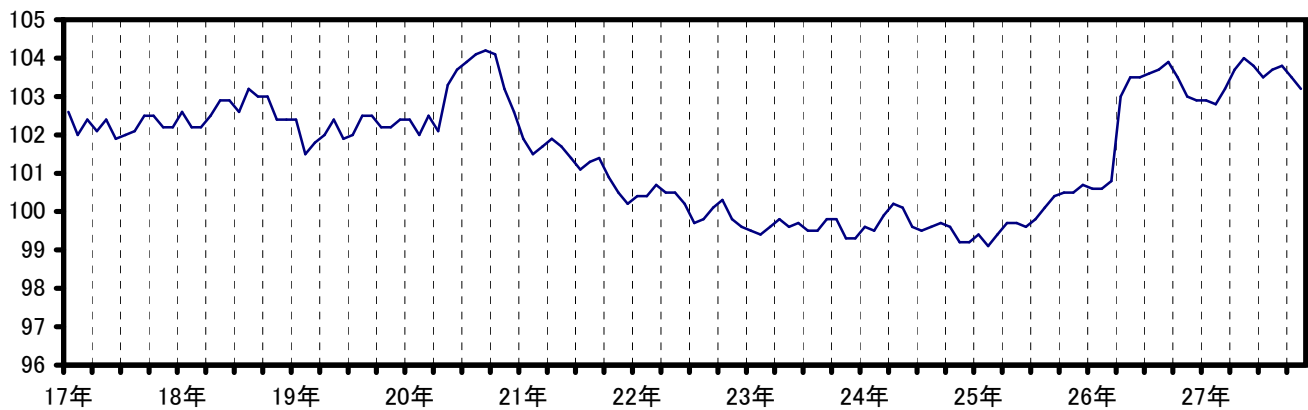
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



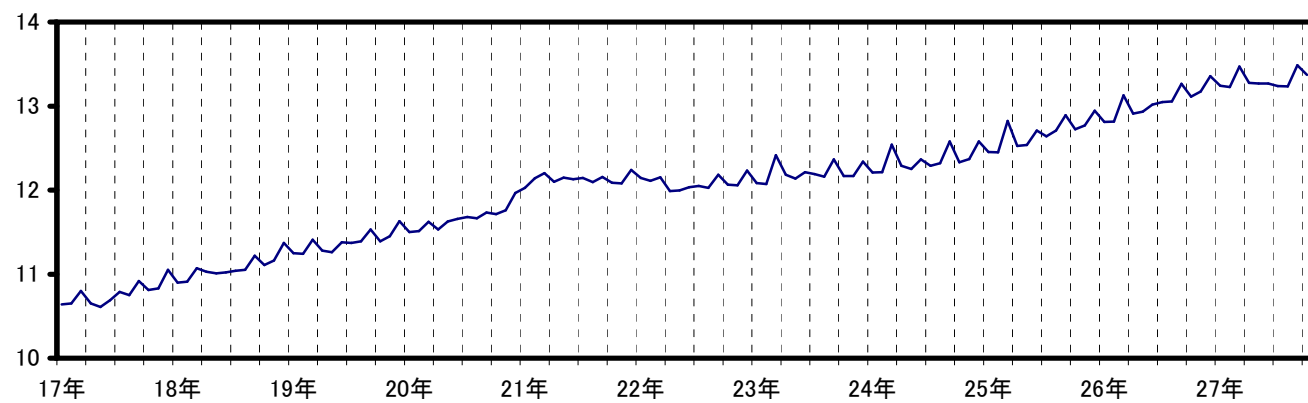
消費者物価指数(平成22年=100)

<資料>県統計調査課



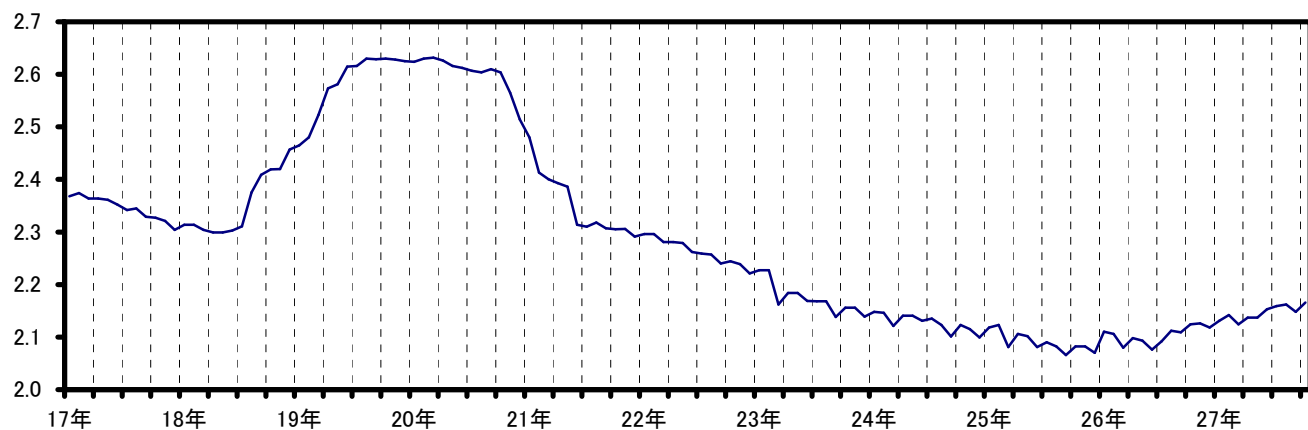
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**10月 = 19,867百万円**

*前年同月比： 5.1%減

<概況>

10月の保証承諾は、金額が19,867百万円（前年同月比 5.1%減）と36か月連続で前年実績を下回り、件数は2,142件（同 2.9%減）と7か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
保証金額（百万円）	30,874	16,893	17,308	23,995	22,004	20,360	25,925	19,867
前年同月比（%）	▲ 7.6	▲ 1.3	▲ 22.6	▲ 5.8	▲ 14.0	▲ 5.8	▲ 2.3	▲ 5.1
保証件数（件）	3,215	1,857	1,956	2,639	2,365	2,233	2,635	2,142
前年同月比（%）	0.4	▲ 4.1	▲ 16.7	▲ 2.6	▲ 13.5	▲ 2.5	▲ 6.8	▲ 2.9

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**11月 = 122.54円/ドル**

*前月差： 2.48円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 6.32円安

<概況>

11月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は122.54円で、前月と比べて2.48円の円安となり、5か月ぶりの円安となった。

<最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平均相場（円）	119.55	120.74	123.75	123.23	123.23	120.22	120.06	122.54
前月差（円）	▲ 0.84	1.19	3.01	▲ 0.52	0.00	▲ 3.01	▲ 0.16	2.48
前年同月差（円）	16.99	18.95	21.70	21.51	20.27	13.13	12.00	6.32

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****11月 = 24件**

*前年同月比： 同水準

<概況>

11月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は24件で前年実績と同水準であり、負債総額は5,366百万円で前年実績を上回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が20件と全体の83.3%を占め、216か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

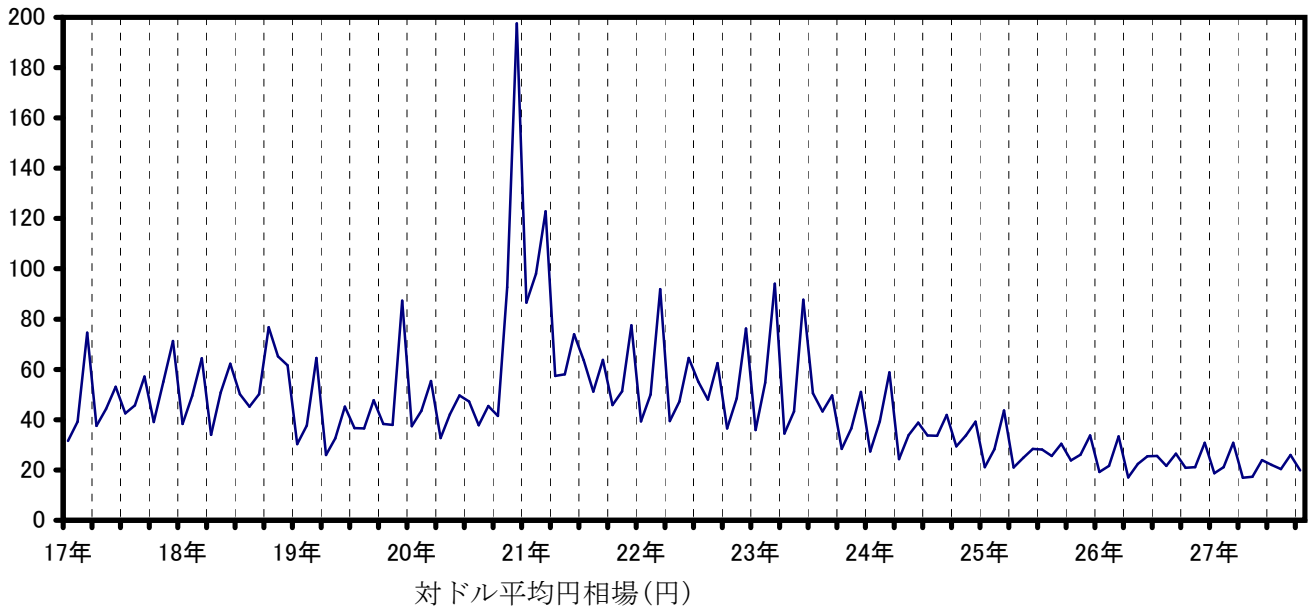
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
倒産件数（件）	25	21	21	23	18	27	18	24
前年同月比（%）	8.6	10.5	▲ 32.2	▲ 17.8	▲ 28.0	▲ 12.9	▲ 40.0	0.0
うち不況型倒産件数(件)	20	13	16	19	16	19	15	20
負債総額（百万円）	4,007	2,878	8,601	3,985	1,899	3,341	3,590	5,366
前年同月比（%）	43.5	▲ 6.7	112.0	▲ 5.2	▲ 59.5	▲ 56.5	12.7	82.8

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

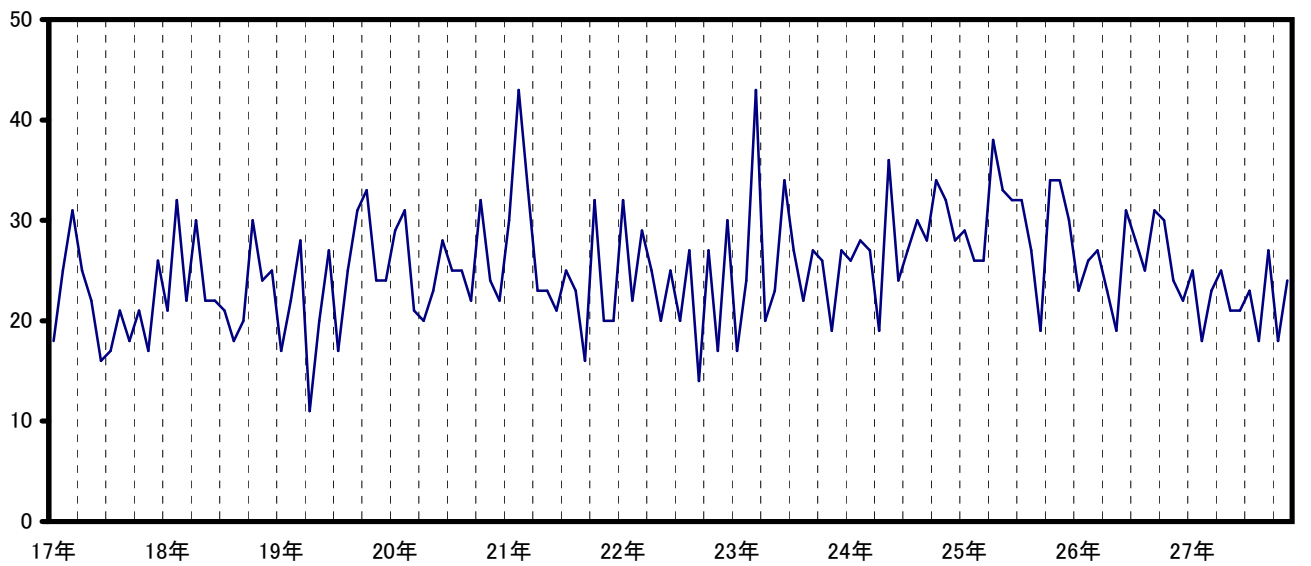


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成27年10月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>10月の国内二輪車生産台数は、46,951台（前年同月比17.5%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは34,238台（同 7.9%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回ったが、車種別では、軽二輪車（126～250cc以下）は5,506台（同48.9%増）と好調であった。</p> <p>輸出向けは、31,030台（同19.9%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。前月同様、輸出の主力車種で、主に北米・ヨーロッパに輸出している小型二輪車（251cc以上）が、22,155台（同22.6%減）と低調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>10月の自動車国内生産台数は813,110台（前年同月比 0.5%減）となり、16か月連続で前年実績を下回った。また、輸出は416,472台（同 3.8%増）となり、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が前年実績を上回ったものの、トラックが前年実績を下回り、全体でも16か月連続で前年実績を下回っている。</p> <p>輸出は、アジア向けが9か月ぶり、欧州向けが14か月ぶり、北米向けが8か月連続で前年実績を上回ったことから、全体では2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>10月の冷蔵庫の国内出荷額は284億3,200万円（前年同月比11.3%増）と6か月連続で前年実績を上回った。国内出荷台数も246千台（同 8.2%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>10月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは293千台（同 9.2%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は、59千台（同 6.5%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>9月の携帯電話と公衆用 P H S を合わせた移動電話の国内出荷台数は、夏モデルの出荷が一段落したことから1,493千台（同24.4%減）と4か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、463千台（同22.1%減）となり、単月のスマートフォン比率は31.0%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>10月の工作機械の受注総額は、1,030億8,000万円（前年同月比22.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は585億9,500万円（同34.0%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが212億2,000万円（同53.0%減）と前年実績を大きく下回った。</p> <p>また、内需も444億8,500万円（同 0.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回ったが、自動車業界向けは154億1,700万円（同10.5%増）と27か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>一方、県内中小企業からは、中国の景気減速から設備投資のずれ込みが鮮明となったため、発注先の計画見通し等、慎重姿勢が高まっており、中小下請企業にそのしわ寄せがきているとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>10月の県内楽器メーカーの販売金額は、58億5,600万円（前年同月比15.0%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが33億1000万円（同22.0%増）で、国内向けが25億4,600万円（同7.1%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,070台（同3.1%増）であった。機種別では、アップライトピアノが1,965台（同1.9%増）、グランドピアノが1,105台（同5.1%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,157台（同14.2%増）、国内向けが1,227台（同3.0%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>10月の紙・板紙の国内出荷高は、2,195千ト（前年同月比1.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,198千ト（同1.6%減）で、19か月連続で前年実績を下回り、板紙は996千ト（同0.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、664千ト（同0.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、154千ト（同0.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>10月の県内生産量は、食缶類が国内向け976千箱（前年同月比8.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は748千箱（同7.3%増）と9か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も555千箱（同11.3%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は227千箱（同12.4%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,316千箱（同1.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>10月の広幅織物の県内生産は、1,515千㎡（前年同月比5.9%増）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,476千㎡（同7.0%増）であり、別珍・コールテンの生産は、39千㎡（同23.3%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、40千㎡（同5.0%増）であった。</p> <p>産地では、引き続き、生産量が減少傾向にある。このため、県内外そして海外へと各種展示会への出展による新規需要・販路開拓を図っている。10月は、地元浜松で展示紹介イベント「綿の産地フェア」を開催し、16の組合・企業が、県民に向けて遠州織物のPRと販売会を通じて地産地消の推進を図った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>10月の全国百貨店での家具販売額は、59億8,100万円（前年同月比 7.6%増）、また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、498億7,800万円（同 5.0%増）であった。</p> <p>県内業界では、10月に大阪で開催された、住空間のリノベーションをテーマとした国際見本市「LIVING & DESIGN 2015」に、リノベーション市場向けに開発した家具を出展するなど、販路拡大に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>
小 売 業	<p>10月の県内百貨店の売上高は、前年と比べて降雨日が少なく晴天日が続いたことや、土曜日が1日多かったこと、また物産展やハロウィンイベントなどが好調となり、来客数が増加したことで、前年同月比でプラスとなった。</p> <p>ある百貨店からは、富裕層を中心とする宝飾や貴金属などの高額商品や、訪日外国人による化粧品の売上げが好調という声が聞かれた。</p> <p>ある食品スーパーからは、野菜の相場高などの影響もあり、10月の売上げは前年同月比でプラスになったが、依然として消費者の財布の紐は固く、また競合店の出店が多いなど厳しい状況であるという声が聞かれた。</p> <p>10月の県内では、商店街関係者や中小企業支援機関などを対象に、「商店街フォーラムIN関東ー商店街活性化の新しい芽ー」が開催された。訪日外国人対策や事業承継等の全国各地の先進事例紹介の後、パネルディスカッションが行われ、各商店街において主体的な活性化の取組を推進するための仕組みやノウハウの共有が図られた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>10月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約46万人で、前年同月比28.7%増と、大きな伸びを示した。天候に恵まれたため、各施設で開催されたイベントの入込が好調だったことが増加につながった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約69万台と前年同月比6.6%増となり、順調に推移した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完成車生産台数(台)	21,173	21,577	15,496	13,721	13,417	17,148	15,097	18,771	19,604
前年同月比(%)	2.7	6.4	17.1	▲5.0	▲2.6	▲12.3	▲8.1	▲7.6	▲22.5
KD輸出額(百万円)	1,010	1,030	1,020	937	822	913	708	794	1,018
前年同月比(%)	4.7	17.5	▲16.7	▲11.3	▲32.0	▲17.8	▲26.0	▲37.3	▲36.8

<楽 器>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生産総額(百万円)	3,419	3,662	3,946	3,720	4,264	4,255	3,254	3,696	4,138
前年同月比(%)	▲3.0	17.1	▲12.5	▲14.8	▲9.3	▲10.6	▲2.4	▲4.0	7.6

<缶詰>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
食缶生産高(千ケース)	889	930	925	893	1,059	1,008	859	910	976
前年同月比(%)	15.5	▲4.8	▲3.7	▲2.8	16.9	3.9	▲1.8	4.2	8.1
うち水産缶詰(%)	12.8	2.7	1.9	3.7	17.0	5.2	4.0	10.3	6.8
農畜産缶詰(%)	23.1	▲24.1	▲19.4	▲21.0	16.4	▲0.1	▲19.0	▲14.5	12.4
飲料缶生産高(千ケース)	5,202	6,976	7,891	7,820	8,765	8,637	7,172	7,133	6,316
前年同月比(%)	▲26.9	▲18.6	▲9.6	▲15.6	▲3.7	▲3.5	▲12.5	15.6	1.0

<織 維>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
広幅織物(千㎡)	1,508	1,519	1,519	1,222	1,225	1,149	1,098	1,348	1,515
前年同月比(%)	▲5.3	▲3.7	▲1.7	▲2.8	▲0.6	▲1.7	0.3	3.7	5.9
小幅織物(千㎡)	38	38	39	40	38	36	33	39	40
前年同月比(%)	6.3	▲1.7	10.4	6.3	▲3.9	▲8.9	▲15.7	▲6.2	5.0

<観 光>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
観光施設(10施設)入込 (千人)	244	470	442	671	344	304	544	477	460
前年同月比(%)	30.4	27.5	▲31.9	▲25.1	▲22.6	16.6	▲3.6	10.2	28.7
有料道路(5路線)通行量 (千台)	606	762	650	717	624	709	847	692	692
前年同月比(%)	17.3	0.0	▲3.1	▲5.9	▲0.7	1.0	0.7	2.0	6.6

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
消費者物価	総務省統計局	http://www.stat.go.jp/
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成27年12月号 通巻476号

発行 静岡県経済産業部
平成27年12月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>